

医療システム部会 全体活動報告

目次

| | | |
|------------|-------|----|
| ・体制 | | 2 |
| ・電子カルテ委員会 | | 10 |
| ・検査システム委員会 | | 14 |
| ・部門システム委員会 | | 18 |
| ・セキュリティ委員会 | | 23 |
| ・相互運用性委員会 | | 27 |

2019年2月4日
医療システム部会
副部会長 湯澤 史佳

体制

診療業務支援

電子カルテ委員会

- ・患者安全が伴った専門委員会
- －患者安全が伴った輸血編WG

検査システム委員会

- －放射線治療WG
- －検査レポート検討WG
- －DICOM WG
- ・臨床検査システム専門委員会
 - －臨床検査データ交換規約改定作業WG
 - －POCTデータ交換標準化検討WG
- ・内視鏡部門システム専門委員会
- ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会

部門システム委員会

- －リハビリ計画検討WG
- ・病棟業務支援システム専門委員会
- ・物流システム専門委員会

セキュリティ委員会

- －電子保存WG
- －監査証跡WG
- －HPKI電子署名規格作成WG
- －セキュアトークンWG
- －JAHIS-JIRA合同リモートサービスセキュリティ作成WG
- －シングルサインオンWG
- －JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- －教育事業WG

相互運用性委員会

- ・メッセージ交換専門委員会
 - －HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
 - －HIS-RISメッセージ交換標準化WG
 - －病名情報メッセージ交換標準化WG
 - －生理検査メッセージ交換標準化WG
- －注射処置標準化WG
- －データ交換規約共通編作成WG
- －PCD-WG
- －HL7翻訳合同WG
- ・データ互換性専門委員会

横串機能

JAHIS 医療システム部会 体制一1

| 部会・委員会名 | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|-----------------|------|-------|-------------------|
| 医療システム部会 | 部会長 | 森本 正幸 | 富士通(株) |
| 〃 | 副部会長 | 亀井 正昭 | 日本電気(株) |
| 〃 | 副部会長 | 湯澤 史佳 | キャノンメディカルシステムズ(株) |
| 〃 | 副部会長 | 執行 直亮 | (株)日立製作所 |
| SS-MIX2仕様策定TF | リーダー | 下邨 雅一 | 富士通(株) |
| 電子処方せん実装ガイド策定TF | リーダー | 木村 雅彦 | 日本アイ・ビー・エム(株) |

| 部会・委員会名 | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|--------------|-------|-------|-------------------|
| 電子カルテ委員会 | 委員長 | 井上 貴宏 | 富士通(株) |
| 〃 | 副委員長 | 岡 和彦 | キャノンメディカルシステムズ(株) |
| 〃 | 副委員長 | 新垣 淑仁 | 日本電気(株) |
| 患者安全ガイド専門委員会 | 専門委員長 | 高山 和也 | 富士通(株) |
| 患者安全ガイド輸血編WG | リーダー | 高山 和也 | 富士通(株) |

JAHIS 医療システム部会 体制一2

| 部会・委員会名 | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|--------------------|--------|--------|--------------|
| 検査システム委員会 | 委員長 | 藤咲 喜丈 | 日本光電工業(株) |
| // | 副委員長 | 河野 努 | 日本光電工業(株) |
| // | 副委員長 | 鈴木 昭俊 | (株)ニコン |
| // | 副委員長 | 福重 二三男 | 富士通(株) |
| 放射線治療WG | リーダー | 香坂 浩之 | エレクタ(株) |
| 検査レポート検討WG | リーダー | 平井 正明 | 日本光電工業(株) |
| DICOM WG | リーダー | 村田 公生 | 富士フィルム(株) |
| | サブリーダー | 渡邊 克也 | PHC(株) |
| 臨床検査システム専門委員会 | 専門委員長 | 福重 二三男 | 富士通(株) |
| 臨床検査データ交換規約改定作業WG | リーダー | 千葉 信行 | (株)エイアンドティー |
| POCTデータ交換標準化検討WG | リーダー | 三沢 泰一 | ラジオメーター(株) |
| 内視鏡部門システム専門委員会 | 専門委員長 | 河野 努 | 日本光電工業(株) |
| 病理・臨床細胞部門システム専門委員会 | 専門委員長 | 鈴木 昭俊 | (株)ニコン |
| // | 副専門委員長 | 近藤 恵美 | シスメックスCNA(株) |

| 部会・委員会名 | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|-----------------|--------|-------|--------------------|
| 部門システム委員会 | 委員長 | 大森 巧 | 東邦薬品(株) |
| 〃 | 副委員長 | 藤咲 喜丈 | 日本光電工業(株) |
| 〃 | 副委員長 | 岡本 重敏 | 富士通(株) |
| 〃 | 副委員長 | 後藤 孝周 | PHC(株) |
| リハビリ計画書検討WG | リーダー | 金子 正和 | 富士通(株) |
| 病棟業務支援システム専門委員会 | 専門委員長 | 藤咲 喜丈 | 日本光電工業(株) |
| 〃 | 副専門委員長 | 安藤 智昭 | (株)ケアコム |
| 物流システム専門委員会 | 専門委員長 | 岡本 重敏 | 富士通(株) |
| 〃 | 副専門委員長 | 岩嶋 有里 | NECソリューションイノベータ(株) |

| 部会・委員会名 | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|------------------------------------|------|--------|-------------|
| セキュリティ委員会 | 委員長 | 茗原 秀幸 | 三菱電機(株) |
| 〃 | 副委員長 | 梶山 孝治 | (株)日立製作所 |
| 〃 | 副委員長 | 江崎 智 | 日本電気(株) |
| 電子保存WG | リーダー | 江崎 智 | 日本電気(株) |
| 監査証跡WG | リーダー | 西田 慎一郎 | (株)島津製作所 |
| HPKI電子署名規格作成WG | リーダー | 茗原 秀幸 | 三菱電機(株) |
| セキュアトークンWG | リーダー | 谷内田 利義 | (株)リコー |
| JAHIS-JIRA合同 リモートサービスセキュリティ作成WG | リーダー | 松本 義和 | サイバートラスト(株) |
| シングルサインオンWG | リーダー | 山岡 弘明 | 富士通(株) |
| JAHIS-JIRA合同 開示説明書WG | リーダー | 下野 兼揮 | (株)グッドマン |
| 教育事業WG | リーダー | 村田 公生 | 富士フイルム(株) |

| 部会・委員会名 | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|----------------------|--------|-------|-------------------|
| 相互運用性委員会 | 委員長 | 木村 雅彦 | 日本アイ・ビー・エム(株) |
| // | 副委員長 | 中田 英男 | 日本電気(株) |
| // | 副委員長 | 窪田 成重 | 富士通(株) |
| メッセージ交換専門委員会 | 専門委員長 | 中田 英男 | 日本電気(株) |
| // | 副専門委員長 | 下邨 雅一 | 富士通(株) |
| // | 副専門委員長 | 平井 正明 | 日本光電工業(株) |
| // | 副専門委員長 | 高坂 定 | (株)メディック総研 |
| HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG | リーダー | 窪田 成重 | 富士通(株) |
| HIS-RISメッセージ交換標準化WG | リーダー | 塩川 康成 | キヤノンメディカルシステムズ(株) |
| 病名情報メッセージ交換標準化WG | リーダー | 木村 雅彦 | 日本アイ・ビー・エム(株) |
| 生理検査メッセージ交換標準化WG | リーダー | 吉村 尚郎 | 日本光電工業(株) |
| 注射処置標準化WG | リーダー | 西岡 太郎 | 日本電気(株) |
| データ交換規約共通編作成WG | リーダー | 中田 英男 | 日本電気(株) |
| PCD-WG | リーダー | 藤咲 喜丈 | 日本光電工業(株) |
| HL7翻訳合同WG | リーダー | 檀原 一之 | 日本電気(株) |
| データ互換性専門委員会 | 専門委員長 | 山口 慶太 | (株)日立製作所 |

| 部会・委員会名 | 役職名 | 氏名 | 会社名 |
|----------|------|-------|--------|
| 医療システム部会 | 運営幹事 | 高橋 俊哉 | 富士通(株) |
| // | 事務局 | 岩本 和則 | JAHIS |
| // | 事務局 | 谷口 浩一 | JAHIS |

電子カルテ委員会

患者安全ガイド専門委員会
患者安全ガイド輸血編WG

(1) JAHIS標準類の策定

- ・JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理診断編)の策定
- ・JAHIS患者安全ガイドライン(注射編)のバージョンアップ
- ・JAHIS患者安全ガイドラインの拡充

(2) 電子処方せん検討への参加

- ・医療機関WGのとりまとめを行い、電子処方せん実装ガイド(医療機関編)の見直し。
- ・電子処方せん実装ガイドの改版。

(3) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・日本医療情報学会と日本クリニカルパス学会が立ち上げた、クリニカルパスの標準化やデータ分析等を検討する合同委員会と連携し、ベンダーの立場から標準化に関する意見具申を行う。
- ・合同委員会から提案されたパス分析に関する出力データモデルに関して、各ベンダーの意見とりまとめと実装ガイドの作成。

(1) JAHIS標準類の策定

- ① JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(輸血編)Ver.2.0
2018年度に、JAHIS技術文書としての改版に向け、申請中。
- ② JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理編)Ver.1.0
2019年度上期に、JAHIS技術文書としての策定に向け、最終レビュー中。

(2) 電子処方箋実装ガイドの策定

- ① 医療機関WGのとりまとめを行い、電子処方せん実装ガイド(医療機関編)の改版作業を実施。3部会7委員会が参加し、電子処方箋実装ガイド Ver.1.1 として、2018年10月にJAHIS技術文書として制定済。

(3) クリニカルパスの標準化に向けた検討への参加

- ① 日本医療情報学会、日本クリニカルパス学会による合同委員会への参加:3回
- ② クリニカルパスの標準化に向けた工業会の取り組みについて発表。
第38回医療情報学連合大会
第19回日本クリニカルパス学会
第19回日本医療情報学会看護学術大会

(1) JAHIS標準類の策定

- ・ JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理編)Ver.1.0 の策定
- ・ JAHIS患者安全ガイドラインの拡充

(2) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・ 日本医療情報学会と日本クリニカルパス学会が立ち上げた、クリニカルパスの標準化やデータ分析等を検討する合同委員会と連携し、ベンダーの立場から標準化に関する意見具申を行う。
- ・ 合同委員会よりアウトプットされる標準仕様書を元に、各ベンダの実装の参考となるようにポイントを整理した技術文書の検討。

(3) 電子カルテデータ利活用に向けた検討

- ・ 電子カルテデータの利活用に向けて、施設を跨ったデータ利用に向けた現状のまとめや課題の整理、また、電子カルテに実装すべき機能についての検討。
- ・ AIを含む様々な臨床支援システムとの連携に対して、電子カルテに必要となる機能についての検討。

検査システム委員会

放射線治療WG
検査レポート検討WG
DICOM WG
臨床検査システム専門委員会
臨床検査データ交換規約 改定作業WG
POCTデータ交換標準化検討WG
内視鏡部門システム専門委員会
病理・臨床細胞部門システム専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

昨年度に引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

昨年度に引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・発信の強化

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- ・「JAHIS臨床検査データ交換規約を用いた外注検査のための実装ガイドVer.1.0」
原案最終調整中
- ・「JAHIS臨床検査データ交換規約を用いたPOCT実装ガイド Ver.1.0」を
日本臨床検査自動化学会POCセミナーにて説明
- ・「JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約Ver.3.0」制定
- ・「JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約Ver.2.0」年度内制定見込み
- ・「JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編」改定作業中、2種個別編開発中

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

- ・IHE-PaLM: 6月18-20日inシカゴ、11月12-14日inパリの国際会議参加
- ・IHE-内視鏡: EWF修正提案、EIAの新規プロファイルがTI版として公開見込
- ・DICOM対応として、DSC、WG-13(Visible Light)、WG-26(Pathology)に参画、
JIRAのセキュリティ関連の提案を支援してWG14(Security)に参画、セキュリティ
委員会と連携して対応し、Standard 2018e に反映

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- ・JAHIS教育事業「入門セミナー」に検査システムの教材を提供、講師を派遣
- ・「病院における感染症関連」セミナーを3月11日に実施予定

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化。

※5月27日～29日 IHE-PaLM国際会議をJAHISで開催※

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

引き続き、検査システム委員会主催セミナー、教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

部門システム委員会

リハビリ計画書検討WG
病棟業務支援システム専門委員会
物流システム専門委員会

(1) 病棟看護、部門システムの課題抽出、標準化活動の推進

- ①部門システムの整理と標準化推進
- ②患者安全施策等に関する取組
- ③部門システムの普及・推進

(2) 病棟看護業務の効率化、患者安全施策の推進

- ①看護・関連マスタ、用語集などの事例収集、積極的活用
- ②病棟に関連したシステム連携の整理・標準化

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ②医療材料の流通における病院内ICTの検討

(4) リハビリに関する医療介護連携の標準化推進

- ①リハビリ計画書連携の電子化検討

(1) 病棟看護、部門システムの課題抽出、標準化活動の推進

①部門システムの整理と標準化推進

病院情報システムにおける様々な部門システムの状況を把握する為に勉強会などを実施し課題を整理した。

②患者安全施策等に関する取組

医療製品識別とトレサビリティ推進協議会にオブザーバー参加し院内業務における現場取り組み事例を把握できた。

③部門システムの普及・推進

JAHIS教育事業に対し教材作成、講師派遣を通じJAHIS会員および外部受講者に部門システムに関連する情報や連携に関する参考情報を提供した。

(2) 病棟看護業務の効率化、患者安全施策の推進

①看護・関連マスタ、用語集などの事例収集、積極的活用

MEDIS-DC「看護実践用語標準マスター」の普及活動へ積極的に参画し、実装化に向け討議を進めより良い標準化の実現に向け推進した。新たに看護協会から「看護記録に関する指針」が示されたので、メーリングリストにて委員に情報提供も行き共有を図った。

②病棟に関連したシステム連携の整理・標準化

JAHIS教育事業の教材作りなどを通じ病棟業務に関連する病院情報システムの整理などを実施した。

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進

外部機関に対して講義の時間をもらい説明と情報共有の活動を行った。

②医療材料の流通における病院内ICTの検討

医療製品識別とトレサビリティ推進協議会にオブザーバー参加し医療材料の医療現場における管理体制などに関する知見を得る事ができた

(4) リハビリに関する医療介護連携の標準化推進

①リハビリ計画書連携の電子化検討

厚労省の介護情報システムVISIT(ビジット)とレセコンのリハビリ計画書データの導通連携テストを実施した。実施する事で発生した医療システム側の疑義照会などを厚労省側開発会社に対し実施している。

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、そのための標準化活動の推進

- ①部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ②教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

(2) 病棟看護業務の効率化、関連システム連携の標準化模索

- ①MEDIS-DC看護実践用語標準マスタ普及促進
- ②病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ②「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版に向けた情報収集と方針策定
- ③医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察
- ④院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索

(4) リハビリなど医療側からの介護連携に関連する標準化模索

- ①リハビリ計画書連携の電子化検討の推進

セキュリティ委員会

電子保存WG
監査証跡WG
HPKI電子署名規格作成WG
セキュアトークンWG
JAHIS-JIRA合同
 リモートサービスセキュリティ作成WG
シングルサインオンWG
JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
教育事業WG

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、JAHIS標準類のタイムリーな追随、改定を実施する。

(2) リモートサービスセキュリティガイドラインのISO規格改定

- ・JAHIS標準「リモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.0」との整合性を確保すべく、ISO TR11633-1,2の改定作業を行い、TR11633-1のTS化を推進する。

(3) HPKI電子署名規格Ver.2.0をISO化するための活動

- ・現在策定中の「ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0」をISO17090-4の改定に組み込む。

(4) HPKIカード、ノード認証・機器認証などのセキュアトークンに関する検討

- ・既存のHPKI対応ICカードガイドラインが分冊化されているため、最新の動向を追加した上で統合を図る。
- ・ノード認証、施設認証、機器認証などの関係を整理し会員各社への啓発を図る。

(5) 電子処方せん実装ガイド改定におけるセキュリティ関連の協力

- ・電子処方せん実装ガイドの電子署名方式などのセキュリティ部分の策定にTFを通じて協力する。

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・18-001 JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.0へ改定
- ・18-004 JAHISシングルサインオンにおけるセキュリティガイドラインVer.2.0へ改定
- ・18-00X JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0へ改定予定。

(2) リモートサービスセキュリティガイドラインのISO規格改定

- ・ISO TR11633-1,2の改定作業を実施した。
- ・TR11633-1はTS11633-1としてJAHIS標準との整合性を確保し出版されることが決定した。
- ・TR11633-2は1stドラフトを策定してISO事務局に送付した。

(3) HPKI電子署名規格Ver.2.0をISO化するための活動

- ・「ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0」と整合性のとれた国際規格としてISO17090-4のCD投票が通過し、DIS投票に進むこととなった。

(4) HPKIカード、ノード認証・機器認証などのセキュアトークンに関する検討

- ・既存のHPKI対応ICカードガイドラインが分冊化されているため、最新の動向を追加した上で「18-001 JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.0」として統合した。
- ・標準化セミナーにてノード認証、施設認証、機器認証などの関係を整理し啓発を図った。

(5) 電子処方せん実装ガイド改定におけるセキュリティ関連の協力

- ・18-101 JAHIS電子処方箋実装ガイドVer.1.1の改定において電子署名方式などのセキュリティ部分の策定にTFを通じて協力した。

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改訂と啓発

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、JAHIS標準類のタイムリーな追随、改定を実施し、必要に応じJAHIS標準類の啓発セミナーを開催する。

(2) リモートサービスセキュリティガイドラインのISO規格改定

- ・JAHIS標準「リモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.0」との整合性を確保すべく、ISO TR11633-2の改定作業を推進する。

(3) HPKI電子署名規格Ver.2.0をISO化するための活動

- ・「ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0」をISO17090-4の改定に組み込む。

(4) HPKIカード、ノード認証・機器認証などのセキュアトークンに関する検討

- ・最新の認証技術やデバイスについて検討を実施し、ノード認証、施設認証、機器認証などの関係を整理し会員各社への啓発を図る。

(5) EHRの監査証跡に関するISO規格改定とJAHIS標準の整合性確保

- ・JAHIS標準との整合性確保を行いつつ、ISO27789の改定作業。

相互運用性委員会

メッセージ交換専門委員会

- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- PCD-WG
- HL7翻訳合同WG

データ互換性専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題(患者プロフィール情報やオーダ付帯情報の標準化、文字コード、HL7のバージョンなど)に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマについては、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。
- 電子処方せん実装ガイドについても、実運用に向けた取り組みを継続する。

(2) 実装システムの検証

- 過去12年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHIS実証実験を継続する。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。

(1) JAHIS標準類の策定

① 電子処方箋実装ガイド Ver.1.1

厚労省から2018年7月末に公開された新しいCDA記述仕様に対応するため、3部会7委員会が参加し、2018年10月にJAHIS技術文書として**制定済**

② 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

ICD-10 2013年版に対応し、2018年8月にJAHIS標準として**制定済**

(2) 実装システムの検証

① 「JAHIS相互運用性実証実験2018」の開催

- 開催期間:10/15～19 開催場所:IHEコネクタソン会場
- 実施テーマ:①患者情報 ②病名情報 ③検体検査結果
- HISベンダ4社が参加し、全社必須シナリオ合格
- トピック:(1) 血液型や感染症情報をLOINCで表現する、(2) ICD-10(2013年版)のデータ交換を行う、(3) 検体検査結果を初めて実施

(3) 標準化の普及推進

- SS-MIX2仕様策定会議等への委員派遣
- 6年連続となる「薬剤に関する医療情報セミナー」(改称)の開催(2/8予定)

～ 今年度同様、以下のような活動に取り組む予定 ～

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通的な課題に取り組む。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行う。
- 新たなテーマについて、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。
- 電子処方箋実装ガイドについて、実運用に向けた取り組みを継続する。

(2) 実装システムの検証

- 過去13年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHIS実証実験を継続する。名称は「JAHIS相互運用性実証実験」とする予定。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました